

梅北だより

後期学校評価特別号

平成29年3月22日発行
京都市立梅津北小学校
校長 塩貝美鈴

平成28年度後期学校評価結果のお知らせ

保護者の皆様にはお忙しい中、学校評価にご協力いただきありがとうございました。保護者の皆様からお寄せいただいたアンケートの数は328で、およそ87%にあたるものでした。皆様からのご意見、また児童へのアンケート結果、教職員の自校評価をふまえ、継続していくべきところ、改善していくべきところを明らかにし、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。

アンケートの方法

アンケートの項目を、【◆確かな学力】 【◆豊かな心・健やかな体】 【◆学校・家庭・地域の連携】 のグループに分け、それぞれの項目につき「重要度―実現度」を尋ねる形式にしました。この二つを相互に関連させたとき、重要度、実現度ともに高い項目は、比較的肯定的なご意見が多く、重要度が高く実現度が低い項目は本校の課題とみることができます。

アンケート結果より ～全項目は掲載できませんので、ご了承ください。～

【「よくできている」「大体できている」を合わせて「実現度」を表記しています。】

【◆確かな学力】

子どもに読書をする習慣が身に付いていること (児童：時間を見つけ、進んで本を読むこと)		前期	後期
	保護者	47.3%	41.7% ↓
	低学年児童	75.5%	69.7% ↓
	高学年児童	62.0%	54.9% ↓
	教職員	65.0%	60.9% ↓



読書習慣については、前期より低い実現度となりました。学校では、あじさい読書週間・もみじ読書週間・すいせん読書週間と年3回の読書週間を開き、たてわりグループによる児童の読み聞かせや、教職員や図書ボランティア『ありすのいえ』の方々による読み聞かせをして本に親しむ機会を設けています。また、今年度は右京図書館の方に来ていただき、4～6年生を対象にブックトークを行いました。読書だけでなく各教科の学習で図書館を活用できるように、PTAからも援助していただきながら図書環境の充実を毎年進めています。今年度は、低学年が読み進めていくことができる絵本に重点を置き、新しく図書を購入しました。各学年の発達段階に応じた本に出会い、そして本に親しんでいくことができるように、これからも図書環境の充実を図っていきたいと考えています。ご家庭でも、引き続き本に親しむ機会を設けるようにしてほしいです。

子ども何事にも粘り強く取り組めること (児童：最後まであきらめずに学習に取り組むこと)		前期	後期
	保護者	62.7%	61.4% ↓
	低学年児童	86.7%	87.6% ↑
	高学年児童	85.4%	82.8% ↓
	教職員	70.0%	65.2% ↓

低学年児童を除いて、実現度が前期より低いという結果になりました。「子どもたち一人一人に向き合える先生がたくさんいてほしい。子どもも保護者も悩んだとき、相談にのってもらえ、一緒に考えてもらえる先生がいてほしい。」「学習面で一人一人見ることは大変ですが、学級の中で一人一人が大切にされる、また大切にできるようにご指導いただけるとありがたいです。」「勉強が苦手なので、なるべく時間をかけてやっていただけると助かります。」（自由記述欄より）学年が進むにつれて学習内容は多岐にわたります。また、難しくもなってもいき、子どもたちにとって興味をもつものもあれば苦手なことも出てきます。子どもたちが困難なことに会ったときには、子どもたちが最後までやり遂げることができるように、一人一人に寄り添いながら支援していきたいです。



【◆豊かな心・健やかな体】

子どもが「おはよう」などのあいさつや 「ありがとう」と進んで言えること (児童：進んで「おはよう」などのあいさつや 「ありがとう」が言えること)		前期	後期
	保護者	81.9%	76.3% ↓
	低学年児童	83.2%	89.8% ↑
	高学年児童	89.4%	88.6% ↓
	教職員	50.0%	56.5% ↑

子どもが身の回りの整理・整頓や掃除を進んですること (児童：進んでそうじをすること)		前期	後期
	保護者	47.7%	46.5% ↓
	低学年児童	89.3%	87.0% ↓
	高学年児童	84.4%	88.0% ↑
	教職員	55.0%	52.2% ↓

子どもが履き物を自分でそろえること (児童：トイレのスリッパやぬいだくつをそろえること)		前期	後期
	保護者	54.8%	50.5% ↓
	低学年児童	88.7%	88.1% ↓
	高学年児童	85.5%	87.4% ↑
	教職員	45.0%	65.2% ↑

学校生活における規範意識を育てるために「あいさつ・そうじ・スリッパ・廊下は右側を歩く」は、ここ数年、本校で掲げている全校の目標です。児童会が中心になってあいさつ運動を続けてきましたが、年度途中から、小中連携で梅津中学校の生徒会もあいさつ運動に参加し、元気なあいさつの声を本校の児童に届けてくれています。子どもたちの身近なところで良いモデルを示してくれています。「身の回りの整理整頓、靴をそろえること、早寝早起き、読書がなかなかできないので、もっとできるように家でも声掛けしていきたい。」「基本である『あいさつ』が全くできていない。しなくてもよいという保護者も多いので呆れてしまいます。私は近所の子どもたちにたとえ嫌われようと、言い続けていきます。」「保護者や学校などそれぞれの立場の大人が、子どもたちにとって良い刺激・影響を与えられるようにと思っています。」（自由記述欄より）ご意見をいただいたように、子どもたちを取り巻く大人が範を示して伝えていくことが大切です。そして、子どもたちができていることに対しては、大いに褒めて、また自信をもって取り組むことができるように励ましていきたいものです。



【◆学校・家庭・地域の連携】 上段（前期） 下段（後期）

(保護者)	実現度				
	よく 出来ている	大体 出来ている	あまり出来 ていない	出来て いない	わからない
学校が、教育方針や教育活動の状況を分かりやすく伝えること	24.9% <u>25.2%</u>	64.1% <u>58.1%</u>	5.7% <u>8.2%</u>	2.1% <u>1.5%</u>	3.2% <u>7.0%</u>
学校が家庭・地域と連携し、「地域総ぐるみ」の教育を推進すること	18.2% <u>19.5%</u>	65.0% <u>60.5%</u>	6.8% <u>6.1%</u>	1.4% <u>0.3%</u>	8.6% <u>13.7%</u>
子どもが地域行事やPTA 行事に参加すること	8.5% <u>7.3%</u>	58.4% <u>55.9%</u>	24.9% <u>25.5%</u>	5.7% <u>5.2%</u>	2.5% <u>6.1%</u>
保護者が学校行事（参観・懇談など）に参加すること	15.7% <u>17.0%</u>	70.5% <u>62.0%</u>	10.3% <u>17.9%</u>	2.4% <u>1.8%</u>	1.1% <u>1.2%</u>
PTA 活動・地域活動が積極的に行われること	16.0% <u>15.5%</u>	61.2% <u>57.8%</u>	12.1% <u>11.9%</u>	2.1% <u>2.1%</u>	8.6% <u>12.8%</u>

〔自由記述欄より〕

○学校での様子について、よくホームページに授業の様子や出来事などをアップして下さって、日々どんなことをしているかよく分かってありがたいです。その内容と共に子どもと話したり、さらに話が膨らんで子どももいろいろ話してくれたりします。これからも続けていただきたいです。

○他校に比べて、学校の様子など細かくホームページを更新して下さっているの、仕事で学校にあまり行けない私にはとてもよかったです。

⇒学校ホームページやお便りなどで、子どもたちの学校での様子を継続して発信してきました。学校の様子を各ご家庭、そして地域の方々にお伝えしていきたいという思いで更新しています。また、PTA メール配信を通じて、連絡させていただくことも度々ありました。メール配信につきましては、年度ごとの登録が必要になります。緊急の連絡をする際にはメール配信を活用していますので、ぜひ登録していただきますようお願い致します。



〔自由記述欄より〕

OPTA 活動は時代が止まったままなので、時代とともに変化していくことが必要かと思ひます。

OPTA 活動、地域活動について、時代も変わり、個人のスタイルも様々な中、PTA 活動が時代にそぐわず、働く母や一人親のことを考えない活動なのはどうかと思ひます。

⇒子どもたちの教育活動を進めていくにあたって、地域や PTA の方々のご協力がなければ十分に進めていくことはできません。先日、学校安全ボランティアとして長年子どもたちの見守り活動をしてくださっている方々をお招きして感謝の集いを開き、感謝状を贈呈させていただきました。子どもたちが親しげに地域の方々に声をかけている姿を見ると、子どもたちは地域の皆さんの中

で見守られながら育っているのだと実感させられます。時代とともにいろいろなことが変わってきています。それに合わせて、学校の体制や PTA の体制等も変えていく必要もあると思ひます。ただ、昔から受け継がれてきて、これからも大事に受け継いでいかなければならないものもあるはずで、皆様からのご意見を十分に検討しながら、子どもたちのために学校・家庭・地域が一体となって活動していくことができたらと考えています。これからもよろしくお願い致します。



【◆確かな学力】

（読書習慣）



- ・スマートフォンやゲームが低年齢層にまで普及している昨今、低学年にまで活字離れが進んでいます。本をもっと読み慣れ親しむように、学校はいろいろな趣向を凝らして取り組まれているので、家庭でも一緒に図書館へ行ったり読み聞かせをしたりして、積極的に読書する習慣を身につけてほしいです。
- ・「文章を読む」習慣は大事です。SNS全盛だからこそ、文字の読み書きはますます大切です。短文形式で自らの思いを伝えるツールとしてSNSは有効ですが、討論して互いに理解し合い尊敬し合う関係を作る上では、落ち着いて文字を読み書きし、話し合うことが必要です。

（粘り強く取り組む）

- ・できないことの経験からあきらめを覚えていくのだと思います。勉強にしても何にしても、時間がかかっても最後までやり抜けるように対応したいです。躓くところは人それぞれでみんな違います。子どもが躓いた時には、壁を乗り越える後押しをしていきたいです。子どもたちには、小さなことでも構わないので、達成感や充実感をいっぱい味わってもらうとともに、その達成感や充実感をみんなで共有したいものです。



【◆豊かな心・健やかな体】

- ・「あいさつ・そうじ・スリッパ・廊下は右側を歩く」常に100%完璧ことというのは大人でもなかなか難しいことです。まずは大人から実践だとは思いますが、日々心がけて行動している子どもたちを、当たり前ではあるけれど、当たり前が出来ていることをいっぱい褒めてあげることも大事だと思います。そこから少しずつ心がけていける子が広がっていけばと思います。
- ・見守り活動をしていて思うことは、子どもたちから進んであいさつをしてほしいということです。あいさつは身の安全を守る大事な手段です。これからもあきらめずに取り組むことがよいと思います。
- ・朝グラウンドを走り、また勉学に励む子どもたち。運動部活動も盛んで多くの子どもたちが参加しています。そんな子どもたちが「おはようございます。」と言ってくれたり、校内のトイレのスリッパや体育館の入り口の靴がそろっていたりすると、とても気持ちがいいものです。
- ・子どもたちを長年見守ってきていますが、梅津北小学校の子どもたちはみんな元気いっぱいです。先月開催された作品展の子どもたちの作品を見ていると、どれも力作ばかりで、子どもたちが健康的にすくすくのびのびと育っていることがわかります。学校・家庭・地域の環境を存分に活かした教育が進められているのだと実感しています。これからもコミュニケーションを大切にして、子どもたちを育てていってほしいと願っています。

【◆学校・家庭・地域の連携】

- ・保護者の交流をもっと深める取組が求められていると思います。学校の協力団体的な内容だけでなく、子どもと親と教職員が、子どもを中心においた取組を作っていくことが求められていると思います。
- ・時代も変わり個々の生活スタイルもいろいろあるのは現実です。しかし、子どもたちの日々の教育活動はそれほど変わっていないと思います。運営方針や活動は変える必要はないと思います。ただ、やり方は改善の余地があるかもしれません。子どもは一人で育ちません。親やその近親者だけでも育ちません。地域の方々とのふれあいも子どもの精神的発達に大きな役割を果たしていると思います。それは今も昔も変わらないと思います。
- ・ここ数年、就労の有無だけでなく、男女問わず様々な活動に参加することが困難になっているのが現状のため、PTA活動も試行錯誤しながら工夫を凝らしています。最近はPTA活動の内容が前年踏襲型になっていることから、行事の検証や見直し、時代に合った活動の相談が必要になっていると思われます。今の役員のみで検討することに限界もあり、OBメンバーにも気軽に声をかけてもらえたらと思います。自分ができること、参加できないが協力できることなど、建設的な意見が出せる雰囲気作りも必要かと思っています。